

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公表番号】特表2017-520596(P2017-520596A)

【公表日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2017-028

【出願番号】特願2017-501289(P2017-501289)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/14 (2006.01)

A 6 1 K 33/06 (2006.01)

A 6 1 K 49/04 (2006.01)

A 6 1 P 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 38/14

A 6 1 K 33/06

A 6 1 K 49/04

A 6 1 P 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月3日(2018.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

引張力、剪断力、及びねじり力の 1 又は複数に対して in vivo 硬化の後に組成物の抵抗を高めるための環状糖ペプチドの使用であって、

前記組成物が粉末成分と水性液体成分と環状糖ペプチド成分とを含み、

前記粉末成分が硫酸カルシウム成分及び / 又はリン酸カルシウム成分を含み、

前記粉末成分と前記水性液体成分と前記環状糖ペプチド成分とが混合により in vivo で硬化が可能な注入用又は成形用の組成物を形成する、
環状糖ペプチドの使用。

【請求項 2】

前記環状糖ペプチド成分が乾燥成分であるか、又は前記水性液体成分の構成成分である、請求項 1 に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 3】

前記環状糖ペプチド成分が、バンコマイシン、エレモマイシン、リストセチン A、プレオマイシン、ラモブラニン、テラバンシン、デカブラニン、及びテイコブラニンから選択される、請求項 1 又は 2 に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 4】

前記硫酸カルシウム成分が、 α -硫酸カルシウム半水和物と、追加的に促進剤とを含み、前記促進剤が硫酸カルシウム二水和物及び塩化ナトリウムから選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 5】

前記リン酸カルシウム成分がハイドロキシアパタイトであるか、又は前記リン酸カルシウム成分がリン酸三カルシウム及びリン酸塩若しくはリン酸カルシウム硬化体である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 6】

前記粉末成分が硫酸カルシウム成分とリン酸カルシウム成分とを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 7】

前記粉末成分が 50 重量 / 重量 % ~ 70 重量 / 重量 % の硫酸カルシウム成分と 30 重量 / 重量 % ~ 50 重量 / 重量 % のハイドロキシアパタイトとからなり、前記液体成分が溶液 1 ml 当たり 2 mg ~ 1250 mg のバンコマイシンを含む、請求項 6 に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 8】

前記組成物が、混合の際に粉末 1 グラム当たり 0.1 ml ~ 2 ml、好ましくは 0.2 ml ~ 0.7 ml の水性液体を含む、請求項 7 に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 9】

前記水性液体が X 線造影剤を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 10】

前記組成物が、混合の際に注入用及び / 又は成形用の組成物 1 ml 当たり 1 mg ~ 600 mg のバンコマイシンを含む、請求項 8 又は 9 に記載の環状糖ペプチドの使用。

【請求項 11】

インプラントを受ける哺乳動物の筋骨格障害の治療における使用に対する、インプラントの安定化のために インプラント固定および骨再成長の中断の最小化 を高めるための組成物であって、

該組成物が粉末成分と、水性液体成分と、環状糖ペプチドとを含み、

前記粉末成分が硫酸カルシウム成分及び / 又はリン酸カルシウムを含み、

前記粉末成分と前記水性液体成分と前記環状糖ペプチド成分とが混合により *in vivo* で硬化が可能な組成物を形成する、組成物。

【請求項 12】

前記環状糖ペプチド成分がバンコマイシン、エレモマイシン、リストセチン A、プレオマイシン、ラモプラニン、テラバンシン、デカプラニン、及びテイコプラニンから選択される、請求項 11 に記載のインプラントを受ける哺乳動物の筋骨格障害の治療における使用に対する組成物。

【請求項 13】

前記硫酸カルシウム成分が α - 硫酸カルシウム半水和物と、追加的に促進剤とを含み、前記促進剤がリン酸カルシウム二水和物及び塩化ナトリウムから選択される、請求項 11 又は 12 に記載のインプラントを受ける哺乳動物の筋骨格障害の治療における使用に対する組成物。

【請求項 14】

前記リン酸カルシウム成分がハイドロキシアパタイトであるか、又は前記リン酸カルシウム成分がリン酸三カルシウム及びリン酸塩若しくはリン酸カルシウム硬化体である、請求項 11 又は 12 に記載のインプラントを受ける哺乳動物の筋骨格障害の治療における使用に対する組成物。

【請求項 15】

前記粉末成分が 50 重量 / 重量 % ~ 70 重量 / 重量 % の硫酸カルシウム成分と 30 重量 / 重量 % ~ 50 重量 / 重量 % のハイドロキシアパタイトとからなり、該組成物が混合の際に注入用及び / 又は成形用の組成物 1 ml 当たり 1 mg ~ 600 mg のバンコマイシンを含む、請求項 11 ~ 14 の いずれか一項 に記載のインプラントを受ける哺乳動物の筋骨格障害の治療における使用に対する組成物。

【請求項 16】

前記インプラントがスクリュー、ピン、ネイル、ワイヤ、プレート、ロッド、及びプロテーゼの 1 又は複数から選択される、請求項 11 に記載のインプラントを受ける哺乳動物の筋骨格障害の治療における使用に対する組成物。